

ファルージャ侵攻の被害を追った記録映像

イラクにおける米軍占領への抵抗のシンボルとなったファルージャ。2004年4月、米軍は数千の兵力でファルージャに侵攻した。1ヶ月近い米軍の包囲と攻撃で住民側死者はおよそ730人、負傷者2800人に達した。米軍の包囲解除から10日後、ジャーナリスト土井敏邦が市内に入り現地取材した。

米軍はどのように攻撃したのか。

だれが米軍と戦ったのか。

そして住民はどのような被害を被ったのか。

ドキュメンタリー映像で55分。

取材・撮影・編集 土井敏邦

県内初上映！

ファルージャ2004年4月



6.30 教育基本法改悪阻止！船橋集

ファルージャ・沖縄・教育基本法を考える

6月30日(金) 午後6時～ 船橋勤労市民センター 地下

- ★映画「ファルージャ2004年4月」(18時～19時)
- ★教育基本法改悪を止めよう。(高校教員)
- ★沖縄から米軍再編を問う(千葉沖縄県人会会長)
- ★辺野古体験報告(看護士)
- ★その他の発言もあります。

※資料代 300円・高校生以下

主催：6.30集会実行委員会

連絡先：千高教組船橋支部 047-451-117